



小売のアーキテクチャ図

o9 を使用したドライバーベースの需要計画の ガイダンス



o9 を使用したドライバーベースの需要計画のガイダンス: 小売のアーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

o9 を使用したドライバーベースの需要計画 i

アーキテクチャ図 1

詳細情報 2

図の履歴 3

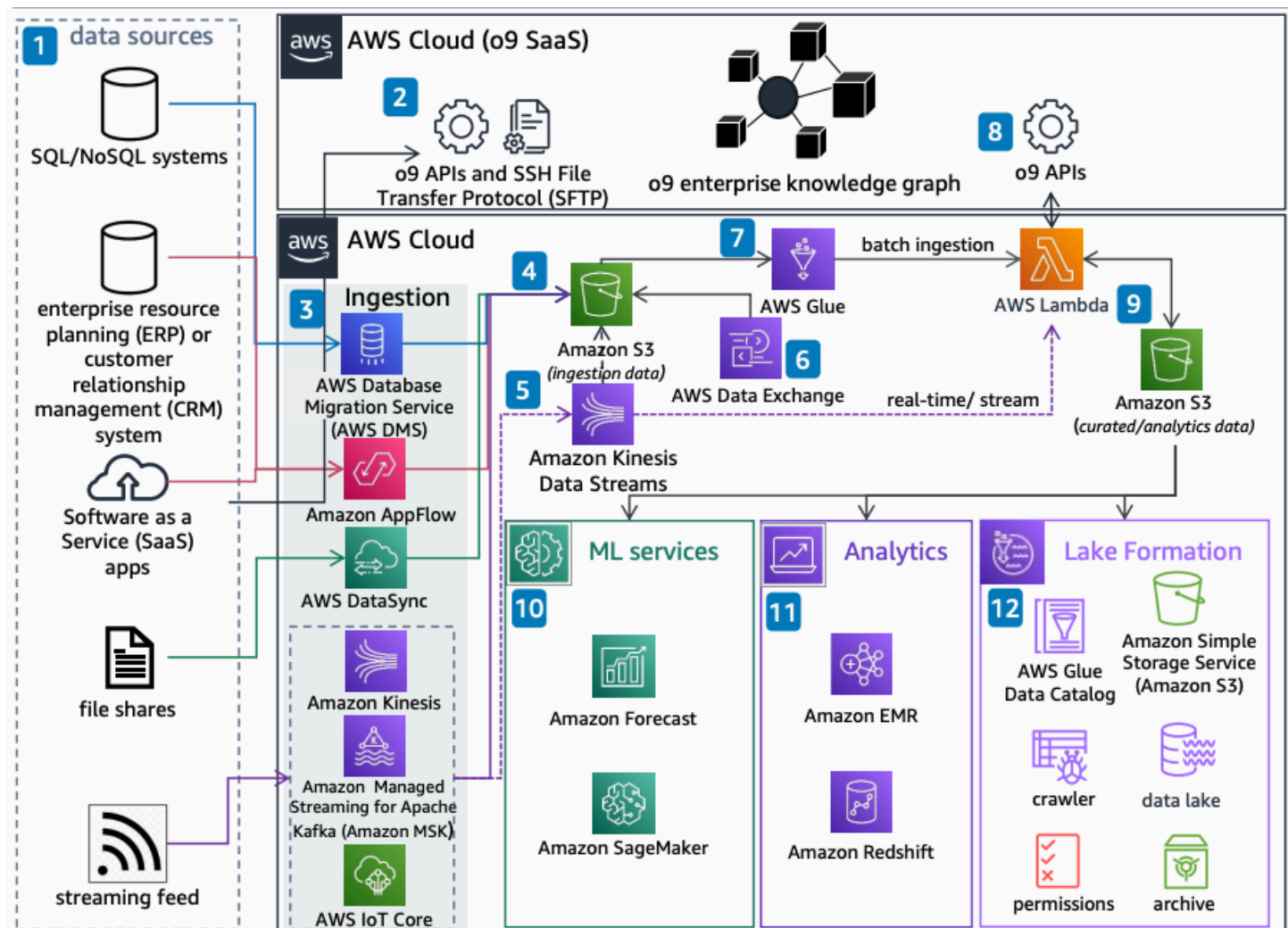
..... iv

o9 を使用したドライバーベースの需要計画のガイダンス

公開日: 2022 年 4 月 25 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャでは、[o9](#)ソリューションでデータを取り込んで AWS サービスを使用するためのオプションを確認できます。SQL および NoSQL システム、エンタープライズリソースプランニング (ERP) または顧客関係管理 (CRM) システム、SaaS アプリケーション、ファイル共有、ストリーミングソースを接続できます。

アーキテクチャ図



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. SQL および NoSQL システム、ERP または CRM システム、その他の SaaS アプリケーション、ファイル共有、ソーシャルメディア、スマートデバイス、ログなどのストリーミングソースなど、さまざまなソースがデータを需要計画ソフトウェアにフィードします。
2. ネイティブ o9 APIs と SSH ファイル転送プロトコル () を使用して o9、SaaS ソリューションにデータを取り込むことができます SFTP。
3. にデータを取り込むこともできます AWS アカウント。サービスの選択はソースによって異なります。SQL および NoSQL [AWS Database Migration Service](#) に を使用します。ERP、CRM、または SaaS に [Amazon AppFlow](#) を使用します。ファイル共有 [AWS DataSync](#) には を使用します。ストリーミングフィード [AWS IoT Core](#) には、[Amazon Kinesis](#)、[Amazon MSK](#)、および を使用します。
4. 取り込まれたデータを の [Amazon Simple Storage Service \(Amazon S3\)](#) に保存します AWS アカウント。
5. ストリーミングデータは、REST APIs o9 を使用して SaaS o9 ソリューションをフィードできます。または、AWS SDK または を使用して Amazon Kinesis Data Streams を介して Amazon Amazon S3 に保存します [AWS Lambda](#)。
6. を使用して、AWS クラウドでサードパーティーデータ (TransUnion、IMDb、 など Reuters) をサブスクライブして使用できます AWS Data Exchange。
7. AWS SDK または [AWS Glue](#) を使用して Amazon S3 の AWS 顧客アカウントデータを o9 SaaS ソリューションにバッチインジェストできます AWS Lambda。
8. SaaS o9 ソリューションと AWS 顧客アカウント内のデータは、o9 APIs とオプションを使用して共有できます AWS Lambda。
9. 標準 Amazon S3 API APIs が、分析と AI/ML ワークロード AWS Lambda のために、Amazon S3 の o9 SaaS ソリューションからアウトバウンドデータを収集します。Amazon S3
- 10 [Amazon Forecast](#) と [Amazon SageMaker AI](#) を使用して、SaaS ソリューションを補完する ML o9 モデルを構築、トレーニング、デプロイします。
- 11 ビッグデータの処理と倉庫保管には、[Amazon EMR](#) と [Amazon Redshift](#) を使用します。
- 12 SaaS o9 データを Amazon S3、IAM AWS Glue、および で構築されたデータレイクに統合します [AWS Lake Formation](#)。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)

- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図に関する最新情報を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 4 月 25 日

RSS サブスクリプション要件

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。